



第49期(2009年10月~2010年3月)



広島大学留学生センター 日本語研修コース 第49期(2009年10月~2010年3月)

パチ・スタ・リカルト ● マカフバル・チュティリン ● ピラダン・ラン・ルトジュニア ● ロリア・ロセリン

● 馬・玉宝
● 周袁
● 辛・燕
● 黎・力利
● 于・娜
● 段・晓宇
● 尹善丽
● 唐振福



● フイリピン
● 中国
● ポルトガル
● インドネシア

パサモンテ・フェイ・ジェネフィウ ● フェルナンデス・ライル ● パラマストゥリ・アリンタワティ

成果発表会
2010年3月1日

目 次

1. 私の留学生活……タン・ゼンブー（中国） ……1
2. 日本のおもしろい物
 マガスパル・チェディリン・サゲル（フィリピン） ……5
3. 私の日本語のクラスは先生です
 ピラタン・ランベルト・セヴィレノ・ジュニア（フィリピン） ……9
4. 私の心から
 ロリア・ロセリン・サラリマ（フィリピン） ……12
5. 私がそだった町、ダヴァオ
 パサモンテ・フェイ・シエネヴィヴ・パトリアルカ（フィリピン） ……15
6. 初めての日本
 フェルナンデス・ライル・エスピリトゥ（フィリピン） ……19
7. 日本での私の幸せな生活……リ・イエン（中国） ……23
8. 笑顔で会話：3つの小話
 リカルド・フィリペ・クストディオ・パティスタ（ポルトガル） ……27
9. 感謝……バ・ギョクホウ（中国） ……31
10. 私の好きなもの……イン・シュンレイ（中国） ……34
11. 毎日美食……シュウ・エン（中国） ……38
12. これまでで一番高かった通学
 パラマストゥリ・アリンタワティ（インドネシア） ……41
13. 日本で感じたこと……ペイ・リジン（中国） ……45
14. 日本の生活……ヨ・ナ（中国） ……48
15. 日本の新鮮な生活……ダン・シャオウー（中国） ……52

私の留學生活

唐振福

私は唐振福と申します。出身地は中国の山東省の青島市です。2009年10月5日に北京から大連經由で広島にまいりました。それから広島大学の留学生センターで日本語を勉強しています。

日本語研修が終わる今、私の感想を「縁源流長」という四つの漢字を使って説明したいと思います。

先ず「縁」、これは「縁」です。縁があれば、遠く離れていようとも出会うものです。私は色々な国から日本に来たクラスメートと一緒に場所で勉強しています。第49期日本語研修クラスは15人です。少ないですが、温かく楽しく国際的で家庭的なグループになりました。クラスメートと一緒に勉強することは一つの縁です。この縁のおかげで、皆さんと交流をもつことができ、よいコースで勉強することができたと思います。宮島やマツダ見

学のような機会もありました。自分の国と違う生活を体験することができるので、とても楽しいです。私は全然寂しくないです。

また、日本に来る前、私は日本語が少しだけ分かりました。15年前、中国の蘭州大学で初めて日本語を勉強しました。そして、10年前、再び勉強しました。今、三回目です。三回も日本語と出会って、感動しました。これも「縁」です。

二番目は「源」。これは「源」です。日本語の中に外国語を源にもた言葉、外来語がたくさんあります。もちろん、中国語を源にした言葉もたくさんあります。日本語の漢字の読み方は中国のと違います。ですから、先生は日本語の漢字の読み方と書き方を教えてくださいました。それで私は中国語の源を考えました。日本語の勉強はいつも難しいですが、楽しいです。そして今は、日本に来る前よりも日本語が上手になったと思います。でも、もっと勉強しなければいけないと思います。

三番目は「流」、これは「流れ」です。鴨長明が『方丈記』の中で「行く川の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず。湊みに浮ぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しく止まりたる例なし。」と言ったように私の生活は川の流れの様にいつも前に進んでいます。今、私は専門の勉強のために日本へ来ました。その為には、時間があろうが、なかろうが、まず、日本語が上手にならなければなりません。私の生活は日本語が上手にならば、専門の勉強へと進んでいきます。毎日、家と教室を往復する時、時々私は将来を考えます。私の将来は明るくと思えます。

四番目は「長」です。「長」の一つの意味は「成長」です。このクラスは「同じ世界に住み、同じ夢を持った人！」です。先生がたに習った半年、共に助け合い、譲り合い、共に成長し、新しい生活環境に少しずつ慣れました。そして、「長」の二つ目の意味は「長く続く」です。縁も友情も日本語の勉強もす

べて長く続きます。日本語の研修は終わりますが、私の新しい出発はまた始まります。千里の道も一歩からで、志がなれば、最後には必ず成し遂げられます。

中国語の諺に「在家千日好、出門一時難」があります。日本語で「家にいる時はいいですが、家を出ると、一時間で困難に出会います」という意味です。中国の家を出た私は困難に出会うかもしれませんが、ホストファミリーのお父さんとお母さんの協力、周囲の皆さんの心強い励ましで、どんな困難にも打ち勝つことができるとでしょう。今、私は希望に燃えています。

先生がた、一緒に日本語を勉強しているクラスメートの皆さん、色々とうとうありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。お元気で！

日本のおもしろい物

マガスパル・チェディリン

私はマガスパル・チェディリンです。フィリピンからきました。私の国にはたくさんおもしろい物があります。たとえば、ジプニーです。ジプニーはいちばんいっぱいてきなものです。「どうろのおうさま」と言います。便利で速いです。さいていりょうきんは20円ぐらいで、とても安いです。20人ぐらいのってもいいです。時々、男の人がジプニーにぶらさがってのります。そして、いなかではジプニーが少ないですから、ジプニーの上にも人がのっています。次に、バナナです。いろいろなしゅるいがあります。ラカタンとラトンダンとセニョリタとサバナなどです。とてもおいしいです。

私は去年の10月日本へまいりました。日本にもおもしろい物がたくさんあります。多く人はジプニーではなく電車にのります。そして、西条でいどうするなら、自転車にのら

なければなりません。また、スーパーでバナナは1しゅるいしか買えません。

ほかにおもしろい物がらつあります。

① まず、え本です。フィリピンでは、私はえ本をあつめていきます。フィリピンのえ本はバイリンガルで、フィリピン語と英語で読めます。そして、がいこくのえ本は英語でかかれています。でも、日本では、え本は日本語のえ本だけです。中央としょかんでは、『はらぺこあおむし』を読みました。おもしろかったです。新しいことばをおぼえました。「日(たいよう)」は「お日さま」と言います。だから、え本をよめば子どもはていねいなことばを学べると思います。今、え本を2さつ持っています。『ますだくん』と『ごんぎつね』です。でも、むずかしいことばがたくさんあるから、まだ読んでいません。そのうち読みたいです。

② いしゃに行くことができました。私のいしゃはしんせつです。でも、私にしょほうせん

をくれませんでした。くすりやにしょほうせんをちよくせつわたしました。フィリピンでは、ちがいます。

①道路のマンホールのふたもおもしろいです。きれいなデザインがあります。フィリピンでは、マンホールのふたはたんじゅんでおもしろくないです。

②いろいろな店でポイントカードをくれます。おもしろくて楽しいです。ナフコやブックオフファミスタードーナツなどがあります。ユメタウンへ行く時いつもポイントカードを使っています。いろいろな物を買いますが、すぐ500ポイントたまります。ですが、500円分の物をもらえます。便利でしあわせです。フィリピンでもポイントカードを持っていました。でも、あまり使いませんでした。ざんねんです。

③さいごに、日本人は、はがきが好きなようです。しょうがつにはねんがじょうをだします。そして、本やでもはがきはたくさん売ら

れています。フィリピンでもはがきは、売ら
 れています。が、あまり使われません。そして、
 フィリピンでは、えはがきのデザインはたい
 ていゆうめいなところのしゃしんです。広島
 市で、いちど、ホストファミリーのお母さん
 とびじゅつかんに行きました。びじゅつかん
 の外ではえはがきがたくさん買えます。がが
 のゆうめいなかいががえはがきになっていま
 す。すごいと思いました。ですが、今、え
 はがきをあつめています。後で、私は、自分
 でえはがきを作りたいです。そして、かなえ
 お母さんにだしたいです。

私はこれから1年間日本に住むことになり
 ますから、日本のおもしろい物をたくさんみ
 つけられるでしょう。先生とお母さんと友達
 ちといっしょに、おもしろい物をさがすのを
 楽しみにしています。みなさん、いろいろと
 ありがとうございました。

私の日本語のクラスは先生です

ランベルト

荷子のことはにまります。

しらないよりきいたほうがいい。

きくよりもみたほうがいい。

みるよりもりかいたほうがいい。

りかいたするよりもじっさいにしたほうが

いい。

じっさいにすることほんとうのすぐれた人になる。

私はランベルトです。フィリピンからきました。どうぞよろしくおねがいします。私はこうこうのしゃかいかのきょうしです。そして、しゃかいかきょういくがせんもんです。いま、私はりゅうがくせいです。

私のスピーチのタイトルは「私の日本語のクラスは先生です」です。

私の日本語のクラスの先生たちはとてもしんせつで、私たちにりかいたがま、とてもしたみやさい先生たちです。そして、先生たち

はいっしょうけんめいにおしえてくれました。
それで、私たちの日本語のべんぎょうはたの
しくておもしろかったです。

きんじょう先生とまつばら先生とまつむら
先生はいつもえがおでとてもしたしみやすい
先生たちです。

ごとう先生は、こがらな先生ですがいつも
げんきいっぱいです。クラスはとてもまがる
いクラスになりました。私はヤンインのビデ
オが大好きです。でも、いまでもわからないこ
とがあります。おねがいがあります。ごとう
先生、ヤンインはどこからきましたか。

いまいし先生は、えいごで日本のぶんかを
しょうかいしてくれました。私はたくインの
ことをふかくなまぶこことができました。日本
文化と日本人は本当にユニークだと思いました。
た。

たわた先生とうきだ先生とふかみ先生のク
ラスはいつもたのしくてにぎやかでした。そ
して、三人の先生たちは私にとって先生とい

うだけではなく、ともだちでまり、ちちおや
 どもまりました。とてもいんしょうてきで、
 たくさんのアドバイスやたいせつなことをま
 なびました。

その日に、私にとってその先生のい
 しい先生でした。いしい先生はたくさんのじ
 ょうねつをもっておしえてくれました。クラ
 スはとてもかっきがまり、またたかりふんの
 きでした。ですから、なんでもためらわずに
 しつもんすることができました。

この日本語コースのすべて先生にかんしゃ
 します。そして、コースでまなんだことは、
 私のまいにちのひつようふかけつなものにな
 っています。

そのおのなる私の先生がたにもういちどい
 います。

ありがとうございました。

みなさんにかみのごかごがまりますように。

私の心から

ロリア・ロセリン・サラリア

先生方、ホストファミリーのみなさん、そして、ここにいらっしゃるみなさん、こんにちは。

教師は、えいえんにえいきょうをあたえます。そして、そのえいきょうリユクは、とどまる

ことをしらないとヘンリー・アダムスという人が言いました。教師はつねに新しいちしきを

をえるためにつねにまなぶひつようがあります。それで、教師は、学生に新しいちしきを

あたえつづけることができ、学生は新しいひらぬきとかんどうをえつづけることができます。

このひらぬきとかんどうのために私は日本へまいりました。

私は、ロセリン・ロリアです。フィリピンからまいりました。私は、物理学の教師です。

私は、けっこんしていません。そして、8さいの犬すねがいます。私のおっははコンピュータ

の教師です。はじめは私は家族とはなれてくらしていません。とてもさびしくてホームソ

ヲワにかかりました。それで、毎晩家族とイ
 ンターネットで話します。でも、私は友達が
 いますからそれほどさびしくありません。と
 きどき友達とかんこうをしたり、買い物をし
 たりします。毎しゅう日よう日、きょうかい
 へおいのりに行きます。そして、神へのいの
 りは私の心を強くしてくれます。私の友達は、
 いつも私の心にいます。
 日本語が話せて、お金がたくさんあれば、
 日本は楽しいところ、つまりパラダイスです。
 しかし、私をびっくりさせたことは、日本の
 ぶっかがとてもたかいことです。そして、日
 本語がむずかしいことです。ホデーランゲ
 ージでなんとかが日本人とコミュニケーショ
 ンをとることができ、おたがいをりかいますこ
 とができてきます。とてもおもしろいこと
 ですが、日本語がわからなければどうやって日本
 で生活をしたらいいでしょうか。
 それで、私たちのコース、日本語しんかん
 せんコースがあります。しんかんせんコース

の先生がたは、とてもしんせつで、いっしょ
うけんぬいおしえてくれました。それで、私
は日本語がわかるようになり、話したりする
こともできるようになりました。このしんか
んせんコースでは、たくさんの先生方が日本
語をおしえてくださいました。私はすべての
先生にかんじやします。どうもありがとうございます
ございました。先生方はいつも私の心にいます。

この日本語のコースはおわりますが、これ
からはせんもんのべんきょうがはじまります。
これは、日本でのさらなるチャレンジといそ
がしい毎日のはじまりです。ティーチャート
レーニングコースは、たった今、はじまった
ところです。このトレーニングは、私をせい
ちようさせられるでしょう。そして、フィ
リピンの人々のきょういくのためになるもの
でしょう。

みなさん、広島大学でゆめにむかっでがん
ばりましよう。またおありする日ができる
日まで。ありがとうございます。

私がそだった町、ダヴァオ

パサモンテ・フェイ・ジェネブイブ

私はパサモンテ・フェイともうします。去年の十月に物理教育学の勉強にフィリピンから日本へまいりました。私の出身はミンダナオ島の中にあるダヴァオです。首都のマニラから少し遠いです。ダヴァオはマニラとちがってとてもしずかで住みやすいです。ダヴァオはさまざま文化がこんざいし、天然資源にもめぐまれていると思います。

フィリピンで、ダヴァオが一番大きな町です。私たちの方言はタガログ語ではありません。ウイサヤ語が多く話されていますが、私たちはタガログ語を話すこともしりかきすることもあります。ダヴァオの人口は急激にふえました。今、たぶん150万人ぐらいいます。ダヴァオはフィリピンの色々な文化のるつぼです。ダヴァオの人は大抵さまざま町の出身です。たとえば、私の両親はイロイロ島で生まれましたが、ダヴァオに住んでいます。

ダヴァオトは、今から百年ぐらい前、小さい日本人のコミュニティーがありました。第二次世界大戦の前は、日本人はダヴァオトに定住しました。日本人はたくさんのおてらや学校などの建物やせつびを整えました。日本人のための新聞がありました。そして、日本人はいなかの人たちと畑の耕し方や魚のとり方を教えました。昔の生活は面白いと思います。私はその場所へ行つたことがありませんから、いつか、見に行きたいです。

ダヴァオトは、色々な面白くてすてきな物があります。まず、きれいですばらしい浜辺がたくさんあります。毎年、夏に大ぜいの観光客がダヴァオトを訪れます。観光客と同じように私の家族も浜辺へ行きます。とても楽しくてわくわくします。でも、今年の夏、私は国へかえりませぬ。浜辺へいけないのは、本当にざんねんでさびしいです。

次に、ダヴァオトにはフィリピンイーグルという鳥がたくさんいます。フィリピンイーグル

ルは世界で、一番大きいイーグルです。イー
 グルのほごちくは私の家から車で二十分ぐら
 いの所にあります。そして、わにのほごちく
 もあります。わにのほごちくは私の家から三
 キ口ぐらいの所にあて、少し近いですが、
 私はしんぱいしていません。
 それから、ダグアオには色々な果物があ
 ります。マンゴーやパイナップルやマン
 ゴスチンなどがあります。どれもとてもおい
 しくて安いのです。しかし、日本では大抵の果
 物が高いです。マンゴーはユナタウンで見
 ることがありません。ダグアオは、今、マン
 ゴーのきせつなので、マンゴーはどこでも見
 られるし、食べられます。このおいしいマン
 ゴーに会うためにはもう一年待たなければな
 りません。少しざんねんです。
 ダグアオはレクリエーションのためのこう
 えんや場所が充実しています。ここでは、ピ
 ヲニックスやしゃげき、せきょうのスポーツ
 が楽しめます。

私のようにダグ、オからはなれた人には、
 ダグ、オのあらゆる物がこいしくなります。
 でも、私の日本の生活は充実していると思
 います。私のあたらしい友達はやさしくてしん
 らいできる人たちです。私のホストファミリーと聖書の勉強会の人たちはとてもしんせつ
 でいつも私を温かく受け入れてくれます。ホ
 ストファミリーのお母さんのおいしい料理で
 いつもおなかがい、はいになります。お父さ
 ん、お母さん、楽しい時間をありがとうござ
 います。そして、先生方のサポートはいつも
 私をゆうきづけてくれました。

私たちはどんな所にもいつも自分の居
 場所を見つけることができます。しかし、私
 は古里や家族とはなれてさびしいです。私の
 まわりの人たちのおかげで私の居場所はここ
 にあります。

友達、ホストファミリー、先生方、どうも
 いろいろありがとうございました。

初めての日本

フェルナソデス・ライル・エスピリトゥ

みなさん、こんにちは。私はライル・エスピリトゥ・フェルナソデスです。私はフィリピンから来ました。どうぞよろしくお願いします。私は留学生です。学校経営が専門です。今日はスピーチをすることができてこうえています。スピーチのたいめいは「初めての日本」です。私の3つのわたいについて話したいと思います。

さいしょのわたいは季節です。私は四季をけいけんするのは、初めてです。私は昨年の秋初めて日本の生活と文化にふれました。もみじはとてもきれいで明るい赤でした。それから、冬が来ました。私たちは雪を見るのを楽しみました。12月に初めて雪を見ました。雪はとても白くてすばらしかったです。毎朝私たちは早く家を出て、大学へ行きました。なぜなら雪の中で友達と写真を撮りたかったからです。でも、何日かあまり好きではない

くなりました。とても冷たいからです。もうすぐ春になります。今、私はさくらを見るのを待っています。もちろ人写真を撮るときかかがたくさんあります。花見を楽しみにしています。

フジのわだいは日本の勉強です。初めてのうちはおぼろしかったです。毎日、授業としてくださいがたくさんあります。日本語の授業では、私達はいつもよりよくをしなければなりません。そして、先生方はとてもやさしくしてしんせつにたすけてくれました。いっしょうけんぬいがんばるにつれて、だんだんわかるようになりました。いたみなくしてえるものはないです。

初めは、かんじはわからなくて言売おのがおぼろしかったです。でも、日かたつにつれて、かんじは私の好きなかもくになりました。テストの時私は始めにかんじの問題にこたえました。ツユウさんもかんじの勉強を手伝ってくれました。ツユウさん、ありがとう。い

さき先生が「ライルさん、かんじがじょうず
になりました」とおっしゃった時とでもしな
わせでした。

私は初めてみはら市の小学校をほうもんし
ました。私は国語の授業をかんさつしました。
私は校長先生と先生方からあたたかくかんじ
いされました。授業はとてもかっばつでした。
私にとって授業をとおして、先生はどういう
ほうほうでICTをかつようするのかがわか
るいいチャンスでした。さらに、私は三日間
いしい先生のクラスにさんかしてうれしかっ
たです。

さいごのわたいは私です。一人で日本へま
いりました。初め、だれも知らない人ばかり
でしたが、この人たちに会って今では日本に
すっかりとけこんでいます。私たちの見学は
小かみ先生といっしょで楽しかったです。私
のホスト・ファミリーはお母さんが二人です。
ひとみさんときょうこさんです。かのじょうた
ちはとてもしんせつです。ながまつ先生はよ

く私をささえてくださいました。外国人のク
 ラスメートに中国とポルトガルとインドネシ
 アからきた人たちがいます。外国人の中で、
 リカルドさんは私が初めておしゃべりした人
 です。今では、いい友達です。仲間のフィリ
 ピソ人のクラスメートは、フェイさんとチエ
 ドさんとパートさんで、ローズさんは私のベ
 ストフレンドです。さいごに私のしんせつで
 とてもがまんがよい先生方です。私がみぎさ
 まとすごした時間のおかげで私の日本での生
 活はもっと楽しくなりました。

私のスピーチはこれで終わります。「さよ
 うなら」ではなく「SEE YOU, しゅあ、またね」
 と言いたいのです。「MARAMING SALAMAT PO!」ほんと
 うにありがとうございました。

日本での私の幸せな生活

李 燕

日本への留学は、2009年に私の受け取った最も良い贈り物でした。日本へきてから5か月になろうとしています。毎日の生活は、とても充実していて、楽しいです。

私の生活では、日本語を勉強することが最も重要なことです。毎日のクラスは内容が多いですが、とてもおもしろいです。先生方は知識が豊富で、親切です。クラスメートはいろいろな国からきました。みんななんでも一生懸命にとりくんでいます。私は日本へ来るまえ、日本語を勉強したことがありませんでした。それで、初めはとても緊張しました。単語を覚えて、日本語で話すこと全部が難しいと思いました。幸い、先生方はさまざまな教え方で、丁寧に教えて下さったので、少しずつ上達していききました。そして、だんだん私はそんな状況に慣れていききました。先生方の初心者に対する教え方はとても良くて、わ

かりやすいです。まだ、私の日本語はあまり上手ではありませんが、昨日の自分と比べて、上達していると思います。さらに、日本語の勉強をすればするほど、おもしろくなります。私は先生方に感謝したいと思います。

私のふだんの生活は少し単調ですが、私はそんな生活を十分に楽しんでいきます。私はここに来てすぐにいろいろなことがわかりました。西条は町から少し離れていますが、空気が新鮮です。そして、一つのところにいろいろなものがまとまっているので、交通や買い物も便利です。また、私は友達とジョギングをしたり、バドミントンをしたりします。ときどき、自転車でいろいろなところへ行ったり、新しくて、おもしろい店と物を探したりしています。特に、私は広大なキャンパスを散歩するのが好きです。キャンパスの道はきれいです。そして、建物は地形にあわせて建てられています。キャンパスの中に植物がたくさんあります。秋になると、木の葉が赤くなっ

たり、黄色くなったりして、とても美しいです。キャンパスは本当に一枚の絵のようです。私はたくさん写真を撮りました。

そして、ホストファミリーとの生活も、良かったです。私はホストファミリーが大好きです。ホストファミリーは私を家族のように温かく受け入れてくださり、日本人の本当の生活を体験することができました。ホストファミリーのお母さんの名前はみつよさんで、いつも明るくて、なんでも懸命にする人です。忙しいのに、長い間毎日英語の勉強を続けているそうです。ですから、みつよさんの英語は上手です。それで、私達の交流はあまり大変ではありません。私達は一緒に文化祭、大学祭に参加したり、着物をきてみたり、イルミネーションを見たり、ご飯を作ったり、神社を参拝したり、いろいろと楽しい時間を過ごしました。楽しい時間を通して、みつよさんは私に生活用語を教えてくれました。最も印象的だったのは、ホストファミリーと一

緒に新年を過ごしたことです。私達は大晦日におせち料理を作ったり、お正月の朝はお雑煮を食べたりしました。新年の最初の光が窓からさしこんできた時、みつよさんは私に日本語で家族と友達の健康と幸福のために祈っていると教えてくれました。その時私は感動を覚えしました。本当にホストファミリーのお父さん、お母さんにお世話になりました。

「幸せ」とは、心の充実です。ただ人によって幸せは違います。私は日本の生活が幸せだと思っています。幸せは実に簡単です。幸せならてをたたこう、幸せならあしならそう、幸せならかたたたこう、幸せなら態度でしめそうよ、みんなでてをたたこう。

最後に、みなさんのご健康と幸福をお祈り申し上げます。

笑顔で会話：3つの小話

リカルド・バティスト

私はリカルド・バティストともうします。

ポルトガルからまいりました。

日本で暮らすのは今回が初めての経験ですが、日本は私にとって変わった国ではありません。2004年に21歳で初めて日本を訪れ、2度目は2007年25歳のときでした。その当時は、3つの日本語「ありがとう」、「さようなら」、「こんにちは」しか知りませんでした。日本人の友人は、日本人は英語が苦手で、ポルトガル語はなおさかできないと言いました。なので、私は笑顔で話すことにしたのです。

第一話：だんじり祭り

初めて日本を訪れたとき、大阪近郊の岸和田という小さな町に住む友人宅にお世話になりました。ちょうどその町の大事なお祭りで、あるだんじり祭りの時期でした。友人のおじいさんは、その祭りを仕切る重要な人で、私

を祭りに参加させてくれました。伝統的な衣装をまとい、カいっばい山車を引きましたが、私たちの地区は勝つことができませんでした。祭りの最後に、おばあちゃん達が私と一緒に写真を撮りに来た際、私は笑顔で応えました。翌日、岸和田の町を歩いていると、そのおばあちゃん達に出くわし、私は何を言われているのかわからないままに風食への招待を受け、それから1時間、寿司をゴ馳走になりながら、おばあちゃん達は私に話しかけ、私は笑顔で応えたのでした。最高のお昼でした。

第二話：キング・オブ・ファイターズ

『キング・オブ・ファイターズ』は、欧米でもとても人気の高い、日本のビデオゲームです。ポルトガルで、このゲームをよくやっておおり、様々な大会に参加しては、いつも勝っていました。京都である晩、『キング・オブ・ファイターズ』をやるためにゲームセンターに行きました。何分かすると、30歳から

いの身なりのよい男性が、私に戦いを挑んで
 きました。2時間戦った末、私は1勝もする
 ことができませんでした。結局、彼は笑みを
 浮かべ、私は…。翌日、同じ時間に再びそこ
 に行くと、待ち合わせたわけでもないのに、
 その男性もまた現れたのです。再戦し、また
 負けて、彼が笑みを浮かべ…。2日後、大金
 をつぎ込んだあげく、ようやく1勝するこ
 とができました。やっと私は笑みを浮かべることか
 できました。

第三話：おかまの攻撃

ある夜、東京で友人たちと出掛け、かの有
 名な歌舞伎町に飲みに行ったときの話です。
 とあるビルの5階にある小さなバーで数時間
 飲み、エレベーターで降りようとしたとき、
 おかまのグループが私に笑みを投げかけてま
 いました。感じが悪くならないようにと、私も
 彼らに微笑みかけました。すると彼らのうち
 の一人が、変な英語でどこから来たのかと尋

ねてきました。私が「ポルトガル」と答える
と、彼らは「フイーゴ！フイーゴ！（ポルト
ガルの有名なサッカー選手です）」と叫びな
がら、私の足を触ってきました。それ以上、
決して笑えませんでした。

今は、もう少し日本語がわかるようになり
ました。

みなさんありがとうございます。

感謝

馬 玉宝

今日は、ここでスピーチができることをうれしく思います。今回のような機会をいただき、ありがとうございます。

最初に日本に来た時の第一印象では、日本の町がきれいで、空気が新鮮で、人がやさしくて、サービスがよくて親切で、女の人がきれいだと思いました。

広島大学の研究生として、入学後、忙しい生活が始まりました。一日また一日と学校へ行って、研究、研究、研究です。いつも家に帰るのは深夜になります。家に着いたら、ご飯を作って、シャワーをあびて、寝ます。次の朝から、もう一度前日の生活の繰り返しです。二人友に忙しい生活は、日本に来る前は、ぜんぜん考えませんでした。その時はどんな生活になるか分かりませんでした。想像していた生活と実際の生活は違います。

時間が過ぎて、周囲の人は同じで、生活も

同じですが、違うところは、ぼくの日本語が
 だんだん上手になっただけです。でも、まだ
 まだだと思っています。2009年10月から、ぼ
 くの生活は変わりました。広島大学の日本語
 研修コースに参加しました。このコースはぼ
 くに楽しいことをもたらしました。さまざま
 な留学生が友人になりました。みんなでしょ
 うに食べて、話して、笑って、遊んで、たの
 びに楽しかったです。また、このコースの先生
 たちは、非常にやさしくて、ユーモアがあっ
 て、まじめで、したしめやすく、責任感があ
 ります。すべていい先生たちです。このコー
 スの中で、ぼくはいろいろな新しい知識を得
 ました。

また、ホームステイの活動はいい活動だと思
 います。ぼくのホストファミリーは非常に
 やさしい人たちです。ぼくたちはしょ
 うに食べて、遊んで、コンサートに行ったり、と
 つも楽しかったです。ホストファミリーのみな
 さん、ありがとうございました。

西条の日本語コースにいた時間が、ぼくの今までの日本の生活で最も嬉しい時間です。ぼくの感謝の気持ちは言葉で表現できません。先生たちには、いつも大変お世話になっております。本当にありがとうございました。

私の好きなもの

尹・春麗

私はインシュンレイともうします。去年の十月一日に中国からまいりました。その日はとても重要です。というのも、その日は私の国の60さいのたんじょうびでした。その日に国から私のゆめの実現のために日本へきたことは、とてもいざがあることです。

飛行機で大連から広島まで一時間半です。便利ですね。私は好きです。こうこうを出て、

はじめて日本を見ました。さしよのいんしようはとてもきれいだと思いました。そらやうきやまちなどはとてもきれいだした。私は大好きです。

私のせんもんは食品経営です。どうや、乙日本の外食産業がますます中国に進出するのをけんきゅうしてります。これは私のゆめです。大好きです。日本は世界でいちばん長寿国です。日本の食べ物は健康できでおいしい

です。私のけんきゅうは左のしいです。

私は23さいです。日本へくる前は、大学生
でした。仕事がありませんでした。それから、

私が先生や同級生とすごす時間は、両親と
すごす時間より長いです。それからせんせい
は私のおかあさんとおとうさんみたい
です。どうきゅうせいは私の兄弟
みたいです。私の指導教官である矢野せんせいと私の日本語の
授業のせんせいはとても親切です。せん
せいは私たちに日本語だけではなく、と
ても重要なことを教えてくれます。お
かみせんせいは、私たちに広島市の
いろいろなきれいなけい
らん場所へ、つれていってく
れました。どうせんせいは、私に
授業中食で物を食べては
だめといいました。なかがわ
せんせいは、よく私たちに本
意をかしこくくれました。いま
し先生は私たちにいろいろ
友人の心に深い感動を
与える映画を見せしてく
れました。たわはせんせいは、
よく愉快そうに笑います。
おがきせんせいは、ときどき
私に「ひさしおの

ですね」といいます。まつおらせんせいには、
 私たちの生活の問題を手伝ってくれました。
 まつばらせんせいには、私たちにせんせいのお
 ばあさんからのプレゼントをくれました。き
 んじょうせんせい、すみません。まいしゅう
 げつようびの午前中は私のけんきゅうしつ
 ぜみです。さとうせんせいとはとてもかわい
 いです。いろいろほんとうにどうもありがた
 ございしました。りさんとタシさんとローズさ
 んとリンダさんとライルさんとチャドさんと
 バさんとヨさんとシュウさんとリカルドさん
 とバートさんとペイさんとダンさんとフェイ
 さんは私のともだちであるだけではなく、兄弟
 みたいです。私は、はじめに家を離れましたか
 ら、体の調子はときどき少し悪いです。その
 とき、みなさんはよく心配してくれました。
 私が病気の時、フェイさんはよく私に授業
 のプリントと宿題をわたしてくれました。「
 宿題をしない」といいました。バートさんは
 「フェイさんはインさんのお母さんみたいです

すね」といいました。バートさんは私に音楽
をくれました。忘れません。私はミッキーが
大好きです。それからライルさんとローズさ
んとフェイさんは私に、ミッキーマウスのノ
ートをくれました。シェウさんはうるさいで
すね。でもかわいいです。リカルドさんはハン
カムですよ。バさんとタンさんはお兄さんみ
たいです。ペイさんは善良です。などなど、
私の同級生たちはとても大切な兄弟です。い
ろいろたのしか、たです。私はクラスでいち
ばん若いですが、お姉さんのようにみなさん
を手伝いたいです。それから、私の日本での
留学生活はさびしくないです。両親と兄弟と
いっしょにいるように生活はたのしいです。
私のホストファミリーもとても親切です。
いろいろととてもあわせです。

日本で私のいちばん大好きなひとびとは世
んせいと同級生とホストファミリー
です。みなさんといっしょの生活ですから、
私は毎日歌いながら自転車で学校へいきまし

た。たのしかつたです。ほんとうにどうもあ
りがとうございました。

毎日美食

シェウ エン

私は周袁と申します。出身地は中国の河南省です。2009年10月1日に中国の首都北京から参りました。これから日本諸と専門を勉強していきます。

どうしてタイトルは「毎日美食」でしょう。答は料理を作ることが、私の大好きなことだからです。

中国には、料理方法が八種類あります。四川料理は八種類の一つです。私が好きなのは四川料理です。四川料理の作り方は、24種類以上です。そのうち「焼く」、「炒める」、「煮る」が最もよくある方法ですが、他にも「蒸す」、「心を煮る」方法がありこの方法は四川料理だけで使われます。四川料理の最大の特徴は、とても辛いことです。外国人が初めて四川料理を食べればその味に驚愕できることは間違いないです。辛いければ辛いほど私にとってそれはおいしい料理になる

ります。私の作る四川料理は本物の四川料理よりもっと辛いです。それで私の作る四川料理は自分だけが食べられます。

さて、日本料理で一番好きなのは刺身です。私は中国で刺身をよく食べていましたが、刺身の値段はとても高かったです。それで日本で暮らしはじめたら刺身をたくさん食べたかと思っていました。ためタウンで刺身を買った時いろいろな刺身があることを発見しました。例えばたこの刺身やまぐろの刺身、サーモンの刺身などです。でも、中国の大半のスーパーマーケットにはサーモンしかありません。刺身の他に日本で人気がある食べ物は納豆があります。でもはじめて納豆を食べた時このへんな味にまったく我慢できませんでした。ある日、日本語の先生が納豆のおいしい食べ方を教えてくれました。「納豆に生たまごとお酢をいれたらおいしくなりますよ」と言いました。この納豆の食べ方をためしてみると、やはり違いました。「とてもおいし

「な」と思いました。それから、毎日納豆を
食べています。

そろそろ日本で暮らして半年たりますが、
日本の生活は本当に好きです。その間に、
私が先生とクラスメートと楽しくて忘れがた
いことを過ごしました。今日で日本語クラ
スが終わりますから残念です。

最後に、先生たちにはいつも大変お世話に
なっております。本当にありがとうございました。

これまでで一番高かった通学

パラマストゥリ、アリンタフティ

私はパラマストゥリ、アリンタフティと言
います。去年の10月4日にインドネシアから
参りました。私の専門は眼科です。最初は6
ヶ月ぐらひ広島大学の東広島キャンパスで日
本語を勉強しました。そして今年の4月から
広島大学病院の眼科で勉強します。

私は夫と一っしょに広島に住んでいます。

毎日、西条へ通って来ます。いつも早く起き
なければなりません。毎日7時45分にアパー
トを出て、自転車で大学病院へ行って、大学
病院から広島駅までバスで行って、8時22分
の快速JRで西条駅へ行って、西条駅からこ
こまでバスで来ます。1時間ぐらひかかりま
す。長い旅行です。私はたいてい一番早く大
学に来ていました。時々教室のかきがかかっ
ていました。

私のクラスメートは色々な国から来ました。

フィリピン人とポルトガル人と中国人がいま

す。授業は朝9時半に始まって、4時15分に
 終わりました。昼休みは12時から1時までで
 した。毎日自分で作ったべんとうを持って来
 て、友達といっしょに昼ごはんを食べました。
 時々食堂で食べました。月曜日から金曜日ま
 で日本語文法やリーディングやヒアリングや
 漢字などを勉強しました。日本語の歌を歌い
 ました。日本語の映画も見ました。コースの
 中で私たちは3回見学に行きました。どれも
 楽しかったです。

日本の冬はとても寒いです。雪が降るのを見
 たことがありませんでした。初めて雪が降
 っているのを見た時とてもうれしかったです。
 私は夫と友達といっしょにスキーに行きまし
 た。私はスキーができなかつたのですが楽し
 かったです。雪だるまも作りしました。

去年の12月13日にホームステイクラブのパ
 ーティーにさんかしました。沢山の留学生に
 会いました。色々な発表がありました。私は
 ピアノを弾いて、夫はバイオリンを弾きまし

た。二人で「千の風になって」を演奏しました。
 た。パーティーの後で私のホストファミリー
 と夫と友達と一緒によにカラオケへ行きました
 た。私たちは色々な歌を歌いました。私のホ
 ストファミリーは演歌を歌いました。ホスト
 ファミリーは歌がとても上手です。
 私は初めて日本のお正月を祝いました。年
 賀状を書きました。もちつきをしました。年
 越しそばやおどろにやおせち料理などを食べ
 ました。おいしかったです。
 ある日いつもの様に、私はJRで大学へ行
 きました。広島駅に沢山の人がいました。電
 車は動きませんでした。アナウンスがありま
 した。日本語が分かりませんから、どうし
 たらいいか分からなくて困っていました。そ
 の時、幸いにも私の日本人の友達がいち、私
 に教えてくれました。人身事故があったよう
 です。電車が動くのは少なくとも1時間後だ
 と言われました。もし待っていたら、授業に
 遅れそうです。「いっしょに新幹線で行きま

しょうか」と私の友達に話してくれました。
 私は「はい、そうしましょう」と答えました。
 それで、私たちは新幹線の切符を買って、新
 幹線のりばへ走って行って新幹線にのりまし
 た。広島駅から東広島駅まで10分ぐらいかか
 りました。速かったです、高かったです。
 1400円ぐらいかかりました。東広島駅から大
 学まで行くバスはあまりないので、東広島駅
 から西条駅までバスで行って、西条駅から大
 学までバスで行きました。長い旅でしたが、
 授業は3分だけ遅れました。
 時間がたつのは速いです。5ヶ月ぐらい毎
 日日本語を勉強しましたが、なかなかうまく
 なりません。日本語が上手になりたいです。
 上手になるまで一所懸命頑張りたいと思いま
 す。
 先生、皆様、本当にありがとうございました。

日本で感じたこと

パイ・リジン

私は去年の9月28日に中国の北の方の吉林省から日本へ来ました。大学院に入るため、現在、広島大学の先端物質科学研究科の研究生として勉強しています。

初めに日本へ来た時、日本と中国では生活の習慣が違ふ所が多くあると思いました。空港を出た直後から、言葉が理解できず、人と交流するのが難しいことに気がつきました。しかし、最初はこの様な問題があるのは当然だと思つていきます。また、日本の自動車は左側通行ですが、中国では反対です。これも慣れるのに時間がかかることの一つです。

広島に来てから研究室のみんなも、日本語の先生も、クラスメートも優しくなりました。研究室の方は私が炊飯器をもらっていないことを聞いて炊飯器をくれました。本当に感謝しています。また、勉強している時、何か質問があれば、先生に聞けば先生はいつでも教えて

よくおさったので、私の日本語はどれどんじょうずになっただけです。それで、先生に一番言いたいです。「ありがとうございます。」

日本での時間が長くなるにつれて、私は日本の生活習慣に慣れていきました。日本での毎日は忙しいですが、とても充実していると思います。自分の目標のために私はもっと頑張る必要があります。

ときどき、私は不思議なおもしろいことを見つけました。ある日、電車に乗っていると、おじいさんが私と同じ車両に乗り込んできました。私の向かい側に座るとすぐ漫画を読み始めました。中国では漫画は若い人しか読みません。その時「おもしろいおじいさんかなあ」と思いました。その後、日本の友達に漫画をよむおじいさんのことを話してよく分かりました。日本で漫画は国民的に人気があるそうです。実は私も漫画が大好きです。「ワイン・ポーズ」というのが一番好きです。とてもおもしろいです。みなさんは、どうですか？

3

スピーチは以上です。みなさん、ありがとうございました。
うござります。

日本の生活

子 娜

私は、子娜と申します。去年の十月に中国から日本へ来たばかりです。東広島に住んでいます。東広島はとてもきれいな町で、バスや電車でどこへでも行けて、とても便利です。ですから、この町が好きになりました。

始めのころ、言葉や習慣の違いから、失敗ばかりしていました。料理も口に合わなかったのです。とても大変でした。諦めようという考えも生まれました。でも、親切な先生とまわりの皆さんのおかげで、頑張ることができました。日本の生活にもだんだん慣れてきました。今では、日本に来てよかったと思っています。

日本に来て初めて知り合いになった日本人は、大塚さんです。とても優しいおじいさんです。大塚さんは、一般的な農家の方ですが、お宅に伺って、びっくりしました。お宅はとてもすばらしいです。親切な大塚さんがいつ

も熱心に助けられて、このようなすばらしい大塚さんに会えて、とてもよかったです。

ある日、大塚さんとアパートの人々と一緒に昼ご飯を食べに行きました。アパートの人々と食事をするのは初めてでした。皆メニューを見て自分が好きな食べ物を注文しました。私も値段を心配しながら定食を注文しました。大塚さんが全部払うのは大変だと思ったからです。みんな楽しく食事をした後で、一人がお金を集め始めました。それぞれの料理の代金を出しているようです。私はちょっとびっくりしました。その時日本に割り勘という習慣があることを初めて知りました。

毎日忙しいです。午前3時間半と午後3時間半日本語を勉強しています。日常会話の中で一番難しいところは、聞き取りですから、いつもテープに「ちょっと待て」と言いたくなります。はじめの二つ、三つの言葉は聞き取ることができますが、後はすぐ忘れてしま

います。本当に困ります。けれど先生は「聞き取りを毎日練習しなければならぬ」と言います。私もそう思います。なかなかうまくできません。何かいい方法はないでしょうか。

日本に来て、一番上手になっただことといえば、やはり料理をつくることです。中国にいる時は、家事を全くしたことがありませんでした。料理は全然できませんでした。でも、日本に来て何でも自分でやらなければなりません。洗濯も料理も授業の後やらなければなりません。少しずつ経験しながら家事はそんなに難しくないとと思うようになってきました。今は中華料理なら何でもできます。

やりたいことはたくさんあるのですが、いちばんしたいことは、旅行です。せっかく日本に来ているのだから、卒業して中国へ帰る前に日本のいろいろなところに行ってみたいと思っています。特に、日本のシンボルである富士山に行ってみたいと思っています。そ

して旅行を通して日本の文化もいろいろ勉強
したいと思っています。日本の文化というと
考えれば考えるほど不思議に思います。時々
感心します。いろいろな日本の旅をたのしみ
にしています。留学生活が終わって、中国に
帰ってもここで学んだ日本語を活かせる仕事
がしたいです。

日本の新鮮な生活

段・暁宇

みなさん、こんにちは。私は段暁宇です。
去年十月に中国の大連から来ました。

大連から広島までひこうきで一時間半しか
かかりませんでした。ひこうきに乗り、ご
飯を食べて、きづいた時には、もう日本に着
いていました。

広島大学に来る途中、車内からそとを見て、
不思議な感じがしました。外国なのに、外国
にいる感じが全然しませんでした。道のそば
の看板が全部漢字で書いてありました。それ
に「中国新聞」と書かれた看板をときどき見
えました。「ここは本当に日本ですか」と友
達に聞きました。ところが、彼女も迷、とい
ました。「さあ、中国みたいね」と友達はこ
たえました。

予約したホテルの名前は山中会館でした。
初めて聞いた時、山中がホテルの主人の名前
だと思いました。ところが、ホテルに着いた

後、「この名前が山の中にあるホテルの意味
 でしょう」と思いました。広島大学が山の中
 会館まであるいて10分ぐらいいかりました。
 短いけれど、途中に大きい池や体長が1メー
 トル以上もある魚や、「へび注意」と書かれ
 た看板などを見ました。カラスが空を飛んで、
 「カーカー」となきました。おこしおわか、
 たびすが、大自然にいる感じがとても好きで
 した。それにとても感動しました。

東広島は本当にいいまちだと思いました。
 空気がきれいだし、水がおいしいし、どこも
 見ても美しいふうけいが見えました。秋にな
 ると、一部の葉が金色やオレンジ色や赤にな
 り、おちました。大連より広島のほうが雨が
 多いです。ときどき雨が二十分ぐらいい降、て、
 おく晴れたりしました。雨のおかげで、葉の
 色がきれいに なりました。金色やオレンジ色
 や赤や緑が地面にならんで、ほんとにもいえな
 い美しさでした。

広島に自転車がたくさん走っています。-

方、大連では自転車はあまり見かけませんでした。私も自転車を一台買いました。1980円でした。この値段は中国よりちょ、とたかいです。私は日本に来る前に、自転車に乗ることとは全然ありませんでした。はじめて自転車を練習した時、とても大変でした。私は何度もころびました。練習すればあるほど、だんだん上手になりました。

自転車のおかげで、おこし遠いところへも行けました。秋やあみだ、たのび、乗広島がとても静かでした。フジに行く途中で六人しか人を見ませんでした。夕方にな、たら日光が金色になりました。夕日のおかげで、田や川やくもも金色になりました。「ほんとうにきれいな町で、ここに来て、よか、た」と思いました。